



元気！塩沢っこ

二本松市立塩沢小学校
令和7年2月18日
第11号
発行責任者 菅野芳弘



☆教育目標 自分やふるさとに誇りをもち、努力できる子どもの育成

○進んで学習する子〈知〉 ○明るく思いやりのある子〈徳〉

○最後までやりぬく子〈意〉 ○健康でたくましい子〈体〉

【R6スローガン】 魅力発見・発信 パワーアップ

自分とふるさとのよさ・魅力を見つけ、伝えよう 自信をもって成長していこう



第3回学校運営協議会（コミュニティ・スクール委員会）

2月13日に第3回学校運営協議会が開催されました。授業参観では、委員の皆様にご各学級の様子をじっくりと見ていただきました。協議では、今年度の学校評価結果と次年度の学校経営・運営ビジョン案について報告をさせていただきました。委員の皆様から、これからの学校と家庭・地域の協働の在り方等について、貴重なご意見をいただきました。お忙しい中、委員の皆様、ありがとうございました。



【R6学校評価から】

<主体的に学び、学んだことを活用できる子ども>

学習面では、対話を重視して指導して参りました。「対話を通した学び」について、昨年よりよい評価になりました。また、「読書活動の充実」についても、とてもよい評価になりました。

アンケートでは児童・保護者ともに、「進んで家庭学習に取り組んでいる」と答える評価が増えました。特に、95%以上の児童が「学習に意欲的に取り組んでいる」と回答しました。ただし「家庭読書」では評価が下がっています。毎月第3日曜日を「家読の日」として、「家庭読書」を推奨してきましたが、まだ十分浸透しているとはいえないようです。

<ふるさとの「人、もの、こと」に豊かにかかわる子ども>

ふるさと・生活の面では、「地域について学ぶ」ことに重点を置きました。特に、保護者の評価が高かったです。また、「夢や目標に向かって取り組むこと」について、高い評価になりました。アンケートでは、ほとんどの児童が「めあてや目標に向かって頑張っている」と答えています。しかし、「自己肯定感」につきましては、三者共に評価が低い結果となってしまいました。今後も、学校と家庭が連携し、子どもたちがありのままの自分を認めたり、結果だけでなく過程を重視したりする関わりが求められます。

<自分を見つめ、体力向上に努める子ども>

健康面では、体育の授業や朝の持久走などの取組により体力向上が図られてきています。今後は、体力テストで劣っている点（投力）を鍛えていきたいと思えます。アンケートによると、「運動の日常化」、「健康への意識」の評価が高まっています。ただし、「家庭での約束」については、「わが子はあまり守れていない」と答えています。特に、ネットやゲームの利用時間について、家庭と連携しながら、児童自らが生活を改善し健康な生活を送る力（健康マネジメント力）を身に付けさせていきたいと思えます。